

田柄地域包括支援センターお仕事紹介①

皆様に地域包括支援センターを知っていただくために、田柄地域包括支援センターで働く職員の活動内容をお知らせいたします。

地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師、看護師・介護支援専門員などの専門職や訪問支援員が働いています。

～今回は、保健師・看護師のお仕事を紹介します～

「保健師・看護師」の主なお仕事

各地域包括支援センターに設置されている「医療と介護の相談口」では、在宅→病院→退院の流れの中で多くの制度の活用や専門職と連携をとりながら、スムーズな在宅生活に移行し、安定した生活が継続できるようにお手伝いをしています。

その方に合わせた在宅のチームを編成したり、連携を深めるような地域づくりを行っています。

具体的な業務

- ・本人、ご家族からの相談を受け、入院先の病院の相談員と連携を取りながら介護保険のサービスや訪問看護、訪問診療などの利用に向けた在宅療養の支援を行います。

- ・光が丘圏域の地域包括支援センターと共同で、毎年多職種連携会議を開催しています。

今年度は、薬剤師との連携をテーマに開催し、地域の介護支援専門員や薬剤師の方など約70名の方に参加いただき、連携を深めることができました。

- ・地域にある訪問診療、訪問看護事業所、地域包括ケア病棟、療養型病院、ホスピスなどの社会資源をまとめ、お客様や地域の介護支援専門員に情報提供を行います。

事業団の特徴

- ・地域包括支援センターの医療職で担当者会議を実施しています。各事業所の情報共有をはかったり、医療職のスキルアップのための研修、新任職員の育成や区民の方々の健康増進に向けた資料作成なども進めています。

さらに感染症予防のため、技術や知識の習得、予防対策を各事業所で展開する感染症予防対策委員会を行っています。